

弾丸娘と懇親会とコブ（2016年3月 八方行事余話）

彼女は3年前まで、雪稜スキークラブの会員でしたが、現在はご主人とともにドイツに在住です。この度、一時的に帰省し、実家のご家族と一緒に八方にスキーに来ていました。

<弾丸娘と懇親会>

初日の20:30過ぎ、予め行事幹事と連絡しあっていた彼女は タクシーで乗り付け懇親会に参加。差し入れてくれたドイツワインを開けながらワイワイ。21:00、そこに一日遅れで参加の3人が到着し、さらにガヤガヤ。22:45に彼女が帰ると、にぎやかだった某男性会員は「ぐったり」と電池切れ状態。2日目の夜、歓談の写メを送ったところ、彼女たまたまタクシーを乗り付けて懇親会にまたまた参加。とまあ、これだけでは単なる「宴会好き」なのですが……

<弾丸娘とコブ>



3日目、
ゴンドラで上がってみるとウサギ平の雲が切れ、晴れ間が！！
ウサギ平を滑る。1本目は固くて大変。2本目を滑ろうとリフトで
上がると彼女が一人でリフト降り場で待っていた！！
もちろん、一緒にうさぎ平を滑りました。

一番右が彼女です



さすがに、会長が「やがては技術選に出したい」と言っただけのことはある、コブの滑りは技術・若さとも相変わらずでした。

コブと一緒に滑った人は、スピードの違いと技術の差に気づかされました。
一緒に滑れない多くの人は、カメラ撮影や見学に没頭……

ヨーロッパでは味わえないコブ斜面に大満足の様子で、14:00頃に彼女は家族のもとに戻って行きました。彼女が帰った後の男達、飲み会同様に電池切れ状態でした。

後日、メンバーが写真を送ったら、「いい写真です～！私もクラブに戻った感じです☆彡、仲間に入れてもらえてとっても嬉しかったです」と返信がありました。 来年もまた来て下さい。